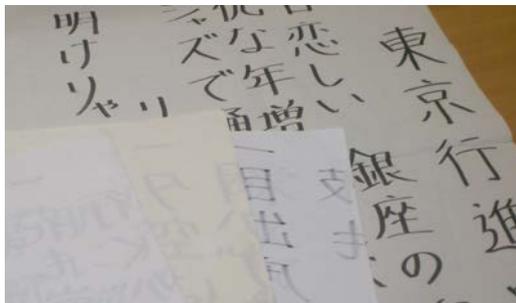


リリムジカは“心をこめた音楽”という意味。「介護と音楽」をテーマに役に立つ情報をまごころこめてお届けします。

前野さんが不安なく参加できるようになった理由とは？

グループホームに住む前野さん(90代女性・仮名)は、「東京行進曲」など普段からよく歌を口ずさむ方です。しかしセッションの際、リリムジカのファシリテーター(FT)がキーボードを取り出し準備を始めると、「わたしわかんないよ」と仰り席を立とうとすることがあります。このような時、セッションを楽しめるのはたいてい3~4曲歌った後でした。前野さんにセッションを最初から楽しんでいただくにはどうしたら良いか。FTは準備の前に毎回、前野さんがよく口ずさんでいる「東京行進曲」やその日使う歌の歌詞を彼女の前に並べるようにしました。前野さんは歌詞を見て「東京行進曲だね。懐かしい歌だね。」等とお話されました。その流れでセッションにも安心して参加できるようになりました。ホームの職員さんも「前野さんが最初から音楽を楽しめてよかった」と仰りました。



セッション前に歌詞を広げました

Q&Aコーナー

耳の遠い方と音楽を楽しむにはどんな方法がありますか？

耳の遠い方と一緒に歌を楽しもうとするとき、どこを歌っているかわからなくて歌えないケースや、歌いたいテンポで歌って他の方とずれてしまうケースがあります。耳の遠い方と一緒に音楽を楽しむにはどうしたらよいのでしょうか。今歌っている場所がわかることが、一つのポイントです。聴こえの良い方の耳元で一緒に歌ったり歌詞を指でなぞったりしてみましょう。歌えることがあります。試してみてくださいね。

うさ子の奮闘記 第8話
「お名前」

セッションではなるべく名前を呼んでいます

名前を呼ぶのにはこんな意図が

早く施設の職員さんとも、近づぐことが出来ます

↓読者様の声を反映し、クイズ欄を大きくしました。以下を切り取って掲示板や廊下にはってください♪↓

【クイズ】 曲名は何でしょう？

- 1 : 更け行く秋の夜 旅の空の
- 2 : 知らない町を 歩いてみたい
- 3 : 夕焼け 小焼けの

【答え】 1 : 旅愁 2 : 遠くへ行きたい 3 : 赤とんぼ